

昼間制の生活体験発表会

7月16日（木曜日）の3，4時限目に昼間制の生活体験発表会が行われました。7名の代表生徒の発表から抜き出して書いてみます。

○ダラダラを終わりにしようと思っていたのに、コロナウイルスの影響で突然中学校の最終日となってしまった。後悔しないために今を真剣に生きよう。自分から変化を起こす。今の変化が未来を変える。

○不登校の中で水戸南高を見つけ、毎日通う楽しさや大変さを感じている。今は学校が怖くない。学校に行けることは「普通」ではない。それは自信を持てることだ。

○子供を笑顔にする会社に入社したい。大学に入ろうと頑張っている自分を誇りに思う。これからもつらいことがあっても打破できる。部活の先輩がすごい。親を幸せにしたい。

○不登校の経験によって、自己主張できる性格になった。水戸南高の存在を知り、高校生活の中でメンタルも少し強くなった。「人より早くつらいことを経験している」と母が言ってくれる。

○高校に入学し、雰囲気は温かく、アルバイトを始め家事と両立させている。コロナウイルスで学校とバイト先が休業になったが再開し、正社員の道を目指し、学校を頑張りたい。

○ホームルーム役員決めで、思い切って代表に立候補し、頼られる存在になった。仲間を信頼して成し遂げると達成感を感じた。自分のことを許せるようになる。目指す道がある。

○小学校卒業後に日本に来て、日本語がわからなかった。勉強して、ある時クラスメイトに思い切って話してみたら応えてくれた。アルバイトも始め、大学に行き、幸せで楽しい人生を進む。

